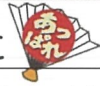


ちやいんど NET 八日市

第33号

編集・発行 ちやいんどネット八日市 2024年（令和6年）3月15日発行
事務局 八日市コミュニティセンター内 TEL 0748-23-4120 (IP 050-8034-1141)

中学生議員に



ちやいんどネット八日市 会長 森 正

ケーブルテレビで中学生議会（主催：東近江市中学生議会実行委員会，事務局：市教委生涯学習課）の本会議（11月12日（日））がライブ配信された。

昨年度，本市で初めて開催された中学生議会では，聖中の生徒が進学先の選択肢を増やすために交通費の補助を訴え，関係部局の働きかけもあって，補助が復活することになった。今年もその生徒が所属するグループから，「中高生を地域行事の担い手に，そして地域活動の活性化を」という提言があった。「ようかいちコミセンフェスティバル」（6月）の「あそびのコーナー」で一人の中学生が自ら進んで子ども達の遊び相手になってくれていたことを思い出す。

議会ではもう一人，聖中の生徒が頑張った。議会を閉じるにあたって登壇した市長が中学生議員達に，「今日，よかったと思う人？」と挙手を促したところ，この生徒だけ手を挙げず，「もう二度と嫌やと思う人？」に手を挙げた。「何で嫌やった？」という市長の問いかけに，

「緊張するから」と答えたそうである（ライブ配信では聞き取れなかった）。現地視察や聞き取り調査，提言書の作成などの5日の研修を経て，中継の入った本会議場で本物の市議会と同じように市の幹部を前に，提言→担当者の回答→回答を受けてまとめの発表（再質問なし）と，さぞ緊張したことであろう。シナリオ通りに議事が進む中，なかなか「嫌や！」と言えるものではない。しっくりしないことをはっきり意思表示したことは，“称赞”に値する。

二学期末の「中学生と大人のしゃべり場」（本誌3面）では，「こんな学校になったらいいのになあと思うこと？」という質問に，何人もの生徒が不登校の生徒のことを思いやっていた（アンケート）。自己責任で片付く問題でも，力づくで解決する問題でもない。子ども達の思いをしっかりと受け止めたい。

真偽の分からない情報が飛び交う時代，大事なのは，自分達の肌感覚。後で，じっくり考えることで，次につながる。

学校連絡会

7月25日（火）13:30～15:00、箕作小の赤沢校長先生とちやいんどネット役員8名で、「コロナ後の教育・子育て」や「課題を抱える子ども達の支援」等について話し合いました。



久しぶりの学校行事や地域のイベントで子ども達がいきいきと活動する様子が報告されました。一方で，事業の見直しや縮小もあり，地域で子ども達にどう関わっていけばいいのか？学校と協働し，地域で話し合いながら活動を進めていくことの大切さを再認識することができました。

八日市キッズ夏休み学習会

7月24日・25日・8月7日・8日の4日間、ちゃいんどネット八日市主催の「八日市キッズ夏休み学習会」を開催しました。

昨年度までの3年間は、コロナ禍での活動ということで、中止の年もあり、開催しても、感染対策をしながら、参加人数・開催日数や活動時間など制限された中での取り組みを余儀なくされてきました。今年度は、一定のコロナ感染対策をしながらも、3年前とほぼ同規模の取り組みをすることができました。

昨年度は、「まち協だより」だけで募集し、八日市地区内の子どもたち限定でしたが、今年度は、八日市北小学校・箕作小学校のご協力を得て、学校で全児童に募集案内を配布することができ、八日市地区だけでなく、中野地区・建部地区の子どもたちもたくさん応募してくれました。その結果30名（定員いっぱい）の参加で、4日間がんばって学習に取り組んでくれました。

毎回、八日市高校ボランティア委員会の皆さん2～5名、大人のボランティアの皆さん7～8名の方々に見守られながら、また、時々おしゃべりを楽しみながらしっかり宿題をこなしていきました。



休憩時には、絵本の読み語り・ジャズダンス・ピアノの演奏鑑賞などを楽しみました。普段味わえない経験ができ、ちょっと贅沢な休憩時間になりました。



ダンススタジオ 吉田先生



ピアノ教室 水野先生



鬼滅の刃より「残響散歌」、ONE PIECEより「新時代」

この4日間、あまり欠席も無く高校生のお兄さん・お姉さんまた、地域の大人の方たちと交流しながら、学習を進めていく有意義な時間を過ごしてくれたと思います。

来年度からもこの取り組みが定着し、多くの子どもたちが参加してくれること願っています。

中学生と大人のしゃべり場

二学期終業式後の放課後（12月22日（金）14:00～15:30）、3年ぶりに聖中から生徒会役員24名がコミセンにやってきました。最初は緊張していた生徒達も地域みなさんに親身にお付き合いいただき、少しずつ打ち解けておしゃべりできるようになりました。おしゃべりを通して自分をありのままに受け入れられる（リスペクトする）ようになったのではないかと思います。



挨拶 図師副会長



相手を替えて、後出し「ジャンケン、ポン！・ポン！」でアイスブレイク



ありがたいことに人数が多く、二重の輪が2つもできました。向き合った2人の間で自己紹介（ニックネーム・趣味・特技、生徒会・地域活動等）



お相手とお題（質問）を替えながら、向き合った2人が約1分ずつおしゃべり。お題（質問）は、「自分をほめてあげたいこと」（生徒）と「日頃、大切にしていること」（大人）といった対になった11パターン。「もっと聞きたかった」、「もっとしゃべりたかった」といったご意見も。みなさん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました

中学生のアンケートより

- ・お題「印象に残るニュース」への大人の回答に、「戦争はよくないと思っていたけれど、大人の方の意見も聞いてより話が深まった。」
- ・お題「こんなまちになったらいいのになあと思うこと」への大人の回答に、「自分と同じことを思っていて盛り上がった。」、「私たちのことも考えてくれた。」、「思いやりが大切」
- ・お題「生きてきて良かったと思うこと」への大人の回答に、「『過去に戻りたくなくて、今までがあったから今の私がいる』って言っているのがかっこよかった。」
- ・感想「話すのが苦手だったけど、たくさん話していただいて少し上手になれた。」
- ・感想「色々な悩みとかの解決などを考えてくれたり、趣味が同じ人もいて楽しかった。私もこんな人たちになりたいと思えた。」
- ・感想「普段大人の人と話す機会がないので新鮮でした。」



生徒代表
磯井生徒会長

大人のアンケートより

- ・お題「印象に残るニュース」への生徒の回答に、「戦争のこと」、「市長のフリースクールの発言とか、社会のことにも少しは目が向いている。」
- ・お題「今の大人に言いたいこと」への生徒の回答に、「大人の押し付けには、気を付けようと思った。」
- ・お題「こんな学校になったらいいのになあと思うこと」への生徒の回答に、「『不登校のクラスメイトが来てくれる学校』と言っていた。」
- ・お題「将来の夢、将来やりたいこと」への生徒の回答に、「ちゃんと将来の夢を語れるのが素晴らしい。まだまだ日本も捨てたもんじゃない。」
- ・感想「子ども達が真剣に答え、また、私の答えにも耳を傾けてくれてうれしかった。」
- ・感想「中学生が意外としっかりした考えを持っていることに少し驚きました。」
- ・感想「聞いたあとプチ質問があったらうれしかった。」



大人代表
熊木前副会長

2023年度(令和5年度) ちゃいんどネット八日市 役員 (年1回の発行のため、年度末の掲載となります)

| 役員名 | 氏名 | 所属 | 役員名 | 氏名 | 所属 |
|------|-------|------------|------|-------|------------|
| 会長 | 森 正 | ちゃいんどネット | 代表委員 | 大橋 利恵 | 民生委員主任児童委員 |
| 副会長 | 図師 孝彦 | ちゃいんどネット | 代表委員 | 加川 泰正 | 社会福祉協議会会長 |
| 事務局 | 中川 晴美 | ちゃいんどネット | 代表委員 | 篠原 耕平 | 冒険遊び場づくりPJ |
| 会計 | 灰谷 実 | ちゃいんどネット | 代表委員 | 岡崎 麻貴 | 箕作小PTA |
| 監事 | 下市有紀子 | 前年度北小PTA | 代表委員 | 松村小也香 | 北小PTA |
| 監事 | 荒木 友美 | 前年度箕作小PTA | 代表委員 | 植村 春枝 | 聖中PTA |
| 代表委員 | 浦根 悦夫 | まちづくり協議会代表 | 委員 | 竹中 洋美 | コミセン協力委員 |
| 代表委員 | 中島 俊治 | コミセン館長 | 委員 | 井上 淳子 | コミセン協力委員 |
| 代表委員 | 高木 輝子 | ぽっぷ八日市代表 | 委員 | 尾方知加子 | ちゃいんどネット |
| 代表委員 | 堤 恵一 | 自治連合会副会長 | 委員 | 福田真由美 | ちゃいんどネット |
| 代表委員 | 加川 裕子 | 民生委員主任児童委員 | | | |

2023年度(令和5年度) ちゃいんどネット八日市関連事業

| | | |
|----|--------------|--|
| 上期 | 6月11日 | 第1回代表者会 事業報告, 収支決算, 役員, 事業計画, 予算, 他 |
| | 6月18日 | 「ようかいちコミセンフェスティバル」(遊びのコーナー) |
| | 7月24・25日 | 「八日市キッズ夏休み学習会」 |
| | 7月25日 | 「箕作小校長先生との連絡会」 |
| | 8月7・8日 | 「八日市キッズ夏休み学習会」 |
| 下期 | 10月30日~11月5日 | 文化祭パネル展示 |
| | 12月22日 | 「中学生と大人のしゃべり場」 |
| | 3月15日 | 広報誌発行 |
| | 3月17日 | 第2回代表者会 本年度の活動, 次年度以降の活動, 他 |
| | 適宜 | 役員会 |

寄稿

◎ 学習会に参加した1年生の児童達

- 🍏 したい学習をする
- 🍓 お母さんと約束したことをする
- 🍇 全て **マル** になるまで、がんばり、やり通す etc

参加した児童達は、学校や学年の違いを越えて、「おはよう」と挨拶を交わし合い、自己紹介し合い、ハイタッチし合う姿に子供同士のつながる力のたくましさを感じられた。

☆ ボランティアのひとりとして

一挙一動を目で、耳で、全身で受け止めたつもりだが、ひとりひとりの子供の輝きは、大きく、柔軟なものと感じた。今、この子供達は何にでもなれる大きな可能性をもっている。そして、今は無邪気に前を向いて、日々歩んでいる。そのような子供達が輝ける未来にむかい、確かに歩み続けていけるよう、心からエールを送りたいと思った。

(HK)

